



～ 一人一花 in 能登半島 プロジェクト ～

「福岡から能登へ 花と復興の応援 の集い」への市長出席について



令和7年3月に能登半島の自治体や商工会議所、建築・ランドスケープ分野の学識者などにより構成される実行委員会により、「一人一花 in 能登半島」プロジェクトがスタートしました。

当プロジェクトは、能登半島に点在する空き地を花植えを通じて地域の憩いの場へと生まれ変わらせる取組みで、福岡市では一人一花運動のノウハウや制度、メニューについての情報提供等を行うことで連携しています。

今回は同プロジェクトの第2号ガーデンのオープニングセレモニーにあたり、高島市長も出席いたしますので、お知らせいたします。

記

1 開催日時

令和7年4月30日(水) 9:00～11:00

2 会場

- ①御祓地区コミュニティセンター（石川県七尾市一本杉町124）
- ②第1号・第2号ガーデン（石川県七尾市魚町115/一本杉町15）

3 実施内容

- ①第1号ガーデン整備経過報告、意見交換会
 - ②第2号ガーデンオープニングセレモニー、第1号ガーデン見学
- ※詳細は別紙参照

<お問い合わせ先>

福岡市住宅都市みどり局一人一花推進課 名川、井口
TEL：092-733-5410（内線2950）
FAX：092-733-5590

プレスリリース

報道関係者各位

2025 年 4 月 25 日

一人一花 in 能登半島実行委員会

御祓まちづくりプラットフォーム

一本杉通り振興会

「福岡から能登へ 花と復興の応援の集い」 開催

福岡市の「一人一花運動」の経験を能登半島の復興へ活かすコラボレーション

このたび、「一人一花 in 能登半島 実行委員会」では、被災地の空き地を地域の憩いの場へと生まれ変わらせるプロジェクトの一環として、福岡市と能登地域との交流イベント「福岡から能登へ 花と復興の応援の集い」を下記の通り開催いたします。

「一人一花 in 能登半島」プロジェクトは、能登半島に点在する空き地を、花植えを通じて地域の憩いの場に変えていく取り組みであり、福岡市役所の推進する「一人一花運動」を参考にスタートしました。

本イベントでは、福岡市より高島宗一郎市長をはじめとする「一人一花運動」関係者を迎え、第1号ガーデンの整備経過と今後の能登半島におけるプロジェクトの展開予定についてご紹介し、第2号ガーデンの完成を記念するオープニングセレモニーを実施します。

また、本プロジェクトは能登半島全体で取り組む復興プロジェクトの一つであり、能登地域の行政関係者、信用金庫、市民団体、プロジェクトを支える企業、専門家が一堂に会し、能登地域の復興に向けた連携を深める場となります。

【開催概要】

日時：2025 年 4 月 30 日（水）9:00～11:00

会場：御祓地区コミュニティセンター（石川県七尾市一本杉町 124）

および 第1号・第2号ガーデン（石川県七尾市魚町 115／一本杉町 15）

主催：「一人一花 in 能登半島」実行委員会 御祓まちづくりプラットフォーム

共催：一本杉通り振興会 / 協力：福岡市「一人一花運動」関係者、造園・ランドスケープ専門家

【当日スケジュール（予定）】

9:00～ 報告・意見交換会（御祓地区コミュニティセンター）

- ・開会挨拶と主旨説明：岡田翔太郎 実行委員長
- ・各首長挨拶：七尾市長 茶谷義隆様、輪島市長 坂口茂様、志賀町長 稲岡健太郎様
- ・紹介：福岡市長 高島宗一郎様
- ・第1号・第2号ガーデンに関わる地域の取り組みの報告：鳥居貞利様、高澤久様
- ・第1号・第2号ガーデンに関する活動報告（ガーデンの紹介とワークショップの報告）
- ・アンバサダー常盤貴子様よりビデオメッセージ上映
- ・協賛企業紹介
- ・福岡市長 高島宗一郎様による閉会挨拶

10:00～

**第2号ガーデン「出会いの一本杉ガーデン」
オープニングセレモニー（七尾市一本杉町15）**

・記念花植え、集合写真撮影

10:30～

**第1号ガーデン「でか山見附ガーデン」見学
（七尾市魚町115）**

・土地所有者の方との交流



第1号ガーデン「でか山見附ガーデン」（2025/3/29 撮影）

【背景と目的】

令和6年能登半島地震から1年が経ち、多くの被災家屋が公費解体される中で、地域には空き地が増加しています。今後も公費解体が進むことでさらに増えていく見込みです。これらの空き地は、復興の進む街並みの中に“寂しさ”を感じさせる風景として残り、地域の活気を損なう要因となることが懸念されています。

そこで、「一人一花 in 能登半島」では、地域住民の手で花を植え、空き地を彩り豊かな憩いの場に変えることを目指します。このプロジェクトには、復興の過程で生まれた空き地を放置せずに活かすこと、そして地域の人々がつながりを深めることの両方の意味が込められています。

2025年3月22日にアンバサダーの常盤貴子さんと一緒にキックオフ・ワークショップを開催し、第1号ガーデン「でか山見附ガーデン」をオープンさせました。（ワークショップの様子はウェブサイト <https://hitori-hitohana-noto.com/blog/60> もご参照ください。）

このたび、第2号ガーデンとして「出会いの一本杉ガーデン」が新たに完成します。本イベントはその節目として、福岡市との交流を深め、今後の地域間連携や継続的支援の機運を高めるものです。

なお、5月には、輪島市、珠洲市、穴水町でも、それぞれの地域の団体と連携してガーデンづくりを実施する予定です。「一人一花 in 能登半島」は、今後も能登半島各地で空き地を活用した花植えを展開し、地域ごとに特色ある憩いの場を生み出していきます。



第1号ガーデンを整備したキックオフ・ワークショップの様子
（写真：山田康太）

【シンボルロゴについて】



福岡市「一人一花運動」のシンボルロゴ（左）と「一人一花 in 能登半島」のシンボルロゴ（右）

「一人一花 in 能登半島」は、福岡市の「一人一花運動」のファミリーとしてスタートしました。シンボルロゴも、福岡市にご快諾いただき、福岡の花かごを踏襲しながら、能登オリジナルバージョンとしてデザインしました。

能登の里山里海を表した緑と青のグラデーションの花かごの中に、能登半島の地形、珠洲の見附島、青柏祭のでか山、キリコ祭りの御神燈キリコ、伝統工芸品の輪島塗、そして、のときリシマツツジと石川県の県花クロユリのイラストを配しています。たくさんのお花と共に能登のステキが溢れる「一人一花」の花かごです。
デザイン：池田美奈子・竹中ゆき奈・岡田翔子

参考：福岡市「一人一花運動」

一人一花運動とは福岡市が2018年1月から始めた運動です。市民、企業、行政が花や緑を育て、公園や歩道、自宅や職場など、福岡市を花と緑でいっぱいにしようという取り組みです。

<https://hitori-hitohana.city.fukuoka.lg.jp/>

【本件に関するお問い合わせ先】

一人一花 in 能登半島実行委員会（担当：岡田翔太郎）

TEL：0767-57-5954

E-mail：hitorihitohana.noto@gmail.com

Website：<https://hitori-hitohana-noto.com/>

Instagram：https://www.instagram.com/hitori_hitohana_noto/